

朝の礼拝

聖書 コヘレトの言葉 3章1節（旧約聖書 1022 頁）

天の下では、すべてに時機があり
すべての出来事に時がある。

麗しい時

人生には大きな決断の必要な時、変化の時があります。でも実際の結果はその道に進んでみなければわかりません。そして期待していた通りか否かで、一喜一憂するのが私たちではないでしょうか。でも大切なのは信じて、歩み続けることです。

まず「天の下では、すべてに時機があり」とありました。この「時機」の語源には「任命する、準備する、決定する」という意味があります。つまり自分の意思とは別に、まだ気づいていないところで、すでに備えられた、決められた時があるという意味です。

一方、次の「すべての出来事に時がある」の「時」の語源には「答える、応答する、証言する、話す、歌う」という意味があります。前の与えられた「時機」と、次の応答の「時」は呼応しています。誰にも与えられた時があり、それに応える時があるという意味です。

しかし与えられている「時機」というのはわかりません。ただ 11 節に「神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた」とあります。私たちが応答の時を間違えても、神様は人知を超えてすべてを益として、神様を思い続け、祈る心を与えます。

（しばらく黙祷しましょう）

慈しみ深い主よ、あなたの深い憐れみによって選ばれ、生かされていることに感謝します。どうか英和生が自ら決断する必要のある時、その心を励まして、あなたの備えられた道を信じ歩ませてください。また喜びと希望をもってともに力を合わせ、あなたのみ心にかなう世界となるために奉仕することができますように導いてください。ことに今、病にある方々を覚えて祈ります。どうかひとときでも早く回復の時を与え、共に感謝を献げる日を迎えることができますようにお守りください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン